

インナーハウスプレゼン部門 2018 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名（フリガナ）	学部名（フリガナ）	所属ゼミナル名（フリガナ）
フリガナ) カナガワダイガク	フリガナ) ケイザイガクブ	フリガナ) ウラガミゼミ
神奈川大学	経済学部	浦上ゼミ

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入し、「有」の場合は使用するスライド番号も記載してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 (代表者含む)	PPT 内動画 (有・無)	動画使用 スライドページ
フリガナ) ウラガミゼミディーチーム	フリガナ) サトウトモミ			
浦上ゼミ D チーム	佐藤智美	6人	無	無

※当日使用するPC、マイク、レーザーポインター機能付きワイヤレスプレゼンターは会場に準備しております。

これらは個別にご用意いただいても大学施設・設備の関係上ご利用いただけませんのであらかじめご了承ください。

発表時に使用する成果物（例：商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査時に使用したアンケート）

なし

※成果物の配布は、『禁止』とさせていただいております。あらかじめご了承ください。

研究テーマ（発表タイトル）

葉っぱビジネスによる地域創生

※必ず「企画シート作成上の注意」を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要（目的・狙いなど）

昨今の日本は全国で高齢化が進み、限界集落が増加している。上勝町も高齢化率が50パーセントを超える限界集落の一つだ。株式会社いのどりの社長である横石氏はこれを逆手に取り、高齢者を活用する葉っぱビジネスを確立した。

葉っぱビジネスとは日本料理の季節感を演出する『つまもの』を商品として扱うものである。立ち上げ当初の売り上げは微々たるものであったが、今では全国シェア率を約8割占め、年間売り上げは約2億6000万円にもなる。

現在の葉っぱビジネスに従事している農家の平均年齢は70歳のため、新規の従業者を育成する必要がある。

そのためいのどりでは近年、いのどり山実習農園やいのどり農家などのインターンシップ事業を行っている。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

林業の衰退、大寒波による柑橘木の全滅から葉っぱビジネスへと町の産業が変化。上勝町の第三セクターである「株式会社いのどり」はつまものの流通補助や営業を行っている。葉っぱビジネスは当初、4人しか参加しておらず売り上げも微々たるものだった。そこで社長自ら料亭に赴き、求められているものに対する理解を深めた。(季節ごとの葉っぱ、鮮度、サイズ、色など) その結果、

売上が好転。それに伴い町人の関心が高まり生産者が急増した。現在は約300名のいじり農家が存在する。この300名のほとんどは高齢者であるがいじり独自の使いやすさにカスタムされたパソコン、タブレット端末等を支給することにより、インターネットを活用した仕入れ状況、市場情報の迅速な伝達を可能にするシステムを構築した。また商品である葉っぱは性質上、多品種・即日発送する必要がある。そのため独自の販売情報システムが構築されていった。このシステムは時代と共に適切に変遷しており、現在はLINEも活用して商品を販売している。現在はこのシステムを他地域向けに改良し販売している。現在は海外の日本料亭をターゲットにしており、販路の拡大を図っている。

この葉っぱビジネスは上勝町の新しい産業として約30年前から始まっており、つまもの産業の全体シェア8割を上勝町産が占めている。これにより無駄なく効率的かつ注文から発送を可能にしており、顧客からの評価も高い。

3. 研究テーマの課題

葉っぱビジネスの商品である葉や花のつまもの以外の用途開拓

葉っぱビジネスの売り上げは年々上昇しているものの近年成長率は小さくなっている。現在の状況から脱出し、成長率を大きくするためにつまもの以外の用途の開拓を提案する。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

売り上げが横ばいであるため今後つまものとしてだけでなくアートの素材や実験材料として販売し、葉っぱの新しい用途を開拓することで売り上げ伸び率を上昇させ更なるビジネス拡大を行う。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

歴史的背景やマーケット環境などは文献調査を行った。文献調査では調べられなかった部分は徳島県勝浦郡上勝町へ調査に赴き、株式会社いじり、合同会社パンゲア、上勝町役場でヒアリング調査を行った。また葉っぱビジネスに従事している農家の方にお話を伺い、実際にどのような活動をされているのか調査した。

6. 結果や今後の取り組み

葉っぱビジネスに携わっている農家の平均年齢は70歳。葉っぱビジネス継続のためには新たな人材の確保、育成が重要になっていく。そのための取り組みとして上勝町、株式会社いじりでは、「彩山」という葉っぱビジネス人材育成場を建設した。さらに株式会社いじりが主体となって、Iターンシップ活動も毎年積極的に行っている。

また葉っぱをつまもの以外の用途開拓として、染物を扱う企業と協力し廃棄される葉を利用した染色技法を開発する事業が計画されている。

7. 参考文献

デジタル毎日新 HP（参照2018-09-20）

<https://mainichi.jp/articles/20160909/k00/00m/040/174000c>

株式会社ハピネス HP（参照2018-09-20）

<https://幸染め.com>

https://www.irodori.co.jp/asp/nwsitem.asp?nw_id=10033

合名会社パンゲア HP（参照2018-09-20）

<http://www.k-pangaea.com/>

上勝町 HP（参照2018-09-20）

<http://www.kamikatsu.jp/>

上勝町「広報かみかつバックナンバー」（参照2018-9-20）

<http://www.kamikatsu.jp/category/zokusei/koho/>

徳島県上勝町（平成27年9月）上勝町地域創生人口ビジョン（参照2018-09-20）

http://www.kamikatsu.jp/docs/2015100800014/file_contents/sousei_jinkou.pdf

徳島県上勝町（平成27年9月）上勝町地域創生総合戦略（参照2018-09-20）

http://www.kamikatsu.jp/docs/2015100800014/file_contents/sousei_sougou.pdf

毎日新聞「来たれ移住者 徳島・上勝町が育成支援」2016年9月9日

<https://mainichi.jp/articles/20160909/k00/00m/040/174000>

徳島新聞 「「彩山」事業が本格化 2016年度から上勝町が土地購入や橋整備」2016/2/27

<http://www.topics.or.jp/articles/-/9597>

徳島新聞 「上勝町「彩山」構想 葉っぱ事業の飛躍に期待」2015/8/24

<http://www.topics.or.jp/articles/-/17395>

株式会社いろどり 2018/9/20

<https://www.irodori.co.jp/index.asp>

東北復興新聞 「仕事をつくり働くことで地域が元気に 地域資源を宝に変えるソーシャルビジネス」

<http://www.rise-tohoku.jp/?p=9148>

農林水産省 「農山漁村活性化推進本部」第六回資料

<http://www.maff.go.jp/j/kanbo/saisei/honbu/>

横石知二 (2007) 『そうだ、葉っぱを売ろう！ 過疎の町、どん底からの再生』ソフトバンククリエイティブ株式会社

＜企画シート作成上の注意＞

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、インナーハウス終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経ビジネス様（株式会社日経BPマーケティング）に大会結果ページを作成いただいております。大会結果ページにはチーム名やご提出いただいた本企画シートが掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナーハウスプレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HPなどに発表されていない）ものに限ります。ただし、学校内の発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・株式会社日経BPマーケティングは一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。「有」の場合は使用するスライド番号も明記してください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※成果物を使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ ここまでを4ページ以内におさめて、ご提出ください